

わたしたち、こんな学習に取り組んでいます！



6月28日 中名田小学校
農業・農村の動きの学習と生き物調査(下田)



9月28日 遠敷小学校
森林学習-伐採体験-(市場)



10月10日 今富小学校
山とケモノに関する総合学習(湯岡)



6月25日 雲浜小学校
小浜よっぱらいサバ養殖 餌やり体験(田鳥)



6月26日 今富小学校
川の水安全講習(南川)



10月17日 今富小学校
魚のさばき方教室(和久里)



特集 農業・林業・水産業に関する
総合学習プログラム実施中
一体験を通じて地域の魅力を学ぼう

問い合わせ 農林水産課 ☎64・6024

地域の基盤産業である農・林・水産業は、私たちの生活にもっとも近い産業であり、田んぼや畑、森林、海、川での収穫や仕事によって、豊かな環境や周辺の風景が守られています。

一方で、担い手である農林水産業者は年々減少しており、将来の担い手不足という深刻な課題に直面しています。

市では、市内の小中学校において、山・川・海・里のつながりを総合的に捉え、農産物の生産・加工・販売、林業や木材の加工、野生の鳥獣が自然環境・林業・農業に与える影響、水産物の漁獲・流通・加工、海や河川の自然環境など、農林水産業について体験を通じて学ぶ総合学習を実施しています。

今回の特集では、この取り組みについて紹介していきます。



総合学習プログラム

総合学習プログラム
本年、農林水産業の重要性や魅力をより多くの小学生に伝えるため、学習内容、学習可能な時期、担当者などが一目でわかる一覧表と、それぞれの体験内容がイメージできる写真をセットにした「総合学習プログラム」を作成しました。

当プログラムを各小中学校の総合学習カリキュラムの作成に役立ててもらおうと、より多くの市内の小中学生が農林水産業に興味を持ち、将来の農林水産業の担い手の育成につながることを期待されます。

■総合学習プログラムの一例

業種	テーマ	学習内容	時期
農業	水稻生産	田植え作業体験	4月～6月
	野菜生産	野菜栽培体験	6月～11月
林業	林業・木材利用	伐採、まき割り体験等	通年
鳥獣害対策	里山の鳥獣被害	農作物や山林の鳥獣害被害について見て学ぶ	通年
水産業	定置網漁業の仕組み	小浜で行われている漁の方法や取れる魚について学ぶ	通年
	養殖漁業の仕組み		通年
	川	川の環境	河川の植物やアユについて学ぶ

INTERVIEW



一般社団法人 中名田
農業・農村の働きの学習と生き物調査 講師
東 清俊 さん
(59歳・下田)

地元の中名田小学校の児童と田んぼ周りの水路で生き物調査と一緒にさせてもらいました。このほか、小学校での田植えや稲刈り体験も手伝わせてもらっています。水や田んぼに入り、生き物を見つけるだけでも、子どもたちはとても驚き、喜んでくれます。話を聞いてみると、普段から自然の中で遊んだり、家の田んぼの手伝いをしたりしている子どもが予想以上に少なく、驚きとさみしさを感じました。

もってけるとうれしいです。そして、この子どもたちが地域の担い手に育ってくればと思っています。また、子どもたちだけでなく、親世代も農業を体験したことがある人が少ないように感じます。親も子どもたちと一緒に体験してもらえれば、いいですね。体験して、いきなり、農業をやってほしいとは言えませんが、絶対に自然の楽しさや農業の魅力は伝わると思います。今後、山での学習や農業体験などいろいろな総合学習ができるといいですね。

自然の中で遊び・学ぶきっかけに

座学と体験セットでの学習が大事

川や山での総合学習は、教室での座学と校外での体験とをセットで学ぶことがとても大事だと思います。川や山、アユ取りやケモノの痕跡探し、木の伐採体験など、子どもたちは現場に出るとすごく興味をもってくれます。机で基本的なことを学んでから、現場に出て体験・実践することで学びが形となり、子どもたちの知識になって身に付きます。子どもたちは、教えていなくても、枯れている木に気付く、原因を考えだすなど、こちらの想像以上の驚きや興味をもってくれたり、大人では

見落とすような、子どもならではの気付きをみせたりします。自然の中での体験はとても楽しいものです。しかし、その様子は年々変わってきており、実際に現場で確認をしないとわからない問題もたくさんあります。そのことに気付く、原因を考えてくれる子どもが、将来地元の自然や環境を守り、これからの農林水産業を担っていつてくれると思います。このような総合学習は、今後も継続していくことがとても大事ですね。

INTERVIEW



福井県猟友会小浜支部 支部長・
若狭河川漁業協同組合 組合員
川の学習、山とケモノの学習(今富小学校)、
森林学習(遠敷小学校) 講師
大橋 明夫 さん
(60歳・竜前)

「魚のさばき方教室」今富小学校6年生

総合学習で小浜の海のことや「鯖街道」の歴史、鯖の養殖について勉強してきました。今回、魚のさばき方を習ったので、家でも挑戦してみたいです。



「山の学習」遠敷小学校5年生

のこぎりを初めて使ったので、コツをつかむまでは難しかったけど楽しかったです。(学校近くの山の) 広場を整備して遊び場としてたくさん活用していきたいです。



総合学習を体験した子どもたちの声

これまで、体験を伴った総合学習を行う際には、人づてで受け入れ先を探すが多かったのですが、それだけでは限界もあり、座学が中心になってしまってもありました。しかし、総合学習プログラムができたことで、選択の幅が大きく広がり、これまで思いつかなかったようなことや、子どもたちがやりたいと思ったことを体験活動として取り組みやすくなりました。昔は、自然の中で遊びながら学べることも多くありましたが、子どもたちの安全面が一層重視されるよう

になり、近年ではそういったことが難しくなっています。だからといって、学校の中で勉強すればいいのかわからない、それだけでは不十分で、できるだけ現場に出て体験させてあげることが重要です。このプログラムを活用し、子どもたちに体験活動の機会をたくさんつくることで、小浜を体で感じて学び、ふるさとである小浜のことを大好きになって、大人になっても実感のある言葉で『小浜ってこんなところ』というのを語れるようになってほしいと思います。

INTERVIEW



今富小学校 教諭
川の学習、山とケモノの学習
森長 秀樹 さん
(53歳)

子どもたちが、この総合学習を通して農林漁業に関わる皆さんの思いや農林水産とそのフィールドである森林、農地、川、海の大切さを学ぶこと。そして、最新の設備や伝統の技を見て、感じてもらうことで、農林水産業に関心を持ち、地域や小浜の未来について考えるきっかけになればと思っています。市では、農林漁業者の皆さんや各小中学校と連携し、総合学習の取り組みを進めていきたいと考えています。学校での授業だけでなく、子ども会やPTA活動においても協力いたしますので、農林水産課までご相談ください。



農林水産課
和久田 グループリーダー